

# きずな

蓮田・白岡地方ユネスコ協会 会報



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

2009年 第2号

**戦争は人の心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない**

## 一周年に寄せて

「大河も一滴の水から始まる」と云われます。最初に志した者の情熱・信望とで、周囲に人が集まるそうです。私には、全く自信はありませんでしたが、一重に皆様のお陰で、今日まで70有余の方に入会いただいております。国際化に向けた情報発信・地域の人々と絆づくりが出来る組織を夢に描いておりました。会員確保・財政基盤作り、当初は奔走致しました。ゼロスタートで覚悟はしていたものの、長引く不況であてもなく、地盤看板も無い地域での困難さとぶつかりました。幾度か折れ掛かった気持ちに鞭打てたのは、皆様の暖かいご支援とインドネシア・バリ島に在住のイスカンダール・万亀子女史のご協力でした。（女史とは学生時代からの友人、2年前日本とバリとの友好を促進したとして日本外務大臣表彰を受賞） 設立1年を経過して、団結の大切さを学びました。設立以来、最大の行事「一周年記念特別講演・南極から見る地球」そして地域では希な「昭和基地とのテレビ会議」「南極色彩魚拓展示」の併催がありました。同時開催は当協会の実力を超えるとする意見がありました。副会長・事務局長を軸に結束して準備にあたり、会員が手分けして行いました。終始講師福地先生、長瀬先生より懇切丁寧なご指導もいただきながらではありましたが、まさに会総掛かりの事業でした。新型流行風邪に出席者を心配しましたが、150名の参加を見、皆、安堵と達成感を実感致しました。此の事で、地域・若者、教育関係者からの共感、会員同士の連帯感が少しは深まったと考えます。最後になりますが、日頃のご指導を深謝致しとにもますと共に、今後も変わらぬご支援賜りますようお願い申し上げます。

除夜の鐘 諸行無常の響きあり（忠女作）。

皆さま、来る年も、ご健勝で在られますよう心からお祈り申し上げます。

会長 田村勝彦



## 2009年度総会&ユネスコ懇話会

4月24日（日）「はすびしらおか」において、2009年度総会を開催しました。会員数67名、総会出席者19名、委任状16名の計35名で2008年度事業報告、決算報告について審議、承認された。引き続き役員改選、2009年度事業計画・予算について提案、審議の上了承され、円満な雰囲気の中で総会は終了しました。

〔主な2009年度事業計画〕

- 6月：設立1周年記念講演会・魚拓展示会
- 8月：第2回地域文化スタディー 白岡歴史入門②
- 11月：第2回 国際シンポジウム
- 2月：第4回地域文化スタディー 蓮田歴史入門②



〔2009年度 総会〕

総会に続きユネスコ懇話会が開催され蓮田・白岡地方ユネスコ協会ステップ計画と5ヵ年目標について、会長より説明がありました。当協会の活動は「地方版寺子屋」活動を基本スタンスにして進めてゆくことを確認し、今後どのような活動展開をして行くかについて意見を述べ合いました。



〔ユネスコ懇話会〕



## 設立一周年を記念して特別講演会及び色彩魚拓展示会を開催しました

### [ 特別講演会 ]

特別講演会は、午後3時に開始され、先ず田村会長が主催者を代表して挨拶を致しました。

次いで白岡町長の小島卓様及び蓮田市市長の中野和信様から来賓を代表してご挨拶をいただきました。続いて、司会者より来賓出席の福原白岡町教育長、関口蓮田市教育長の紹介と埼玉県知事の上田清司氏からの祝電が披露されました。

その後、講演会講師の福地光男先生（白岡町在住、国立極地研究所教授）及び色彩魚拓芸術家の長瀬望秋先生（蓮田市在住）の略歴が紹介されました。

講演は、南極観測に越冬隊長など長年の経験を有する福地先生により「南極から見る地球」と題して、日本の南極観測の歴史、南極の現状、これまでの研究成果などがパワーポイントを用いての紹介や地球儀を使っての説明など分かりやすいお話でした。



[講師の福地先生]

午後4時から、会場と南極で活躍中の越冬隊員の方々のTV会議が約40分間にわたり行われました。隊員による南極の自然環境などの説明やリアルタイムで基地の状況を知ることが出来ました。その後、会場の高校生や中学生から南極の自然や隊員の日常生活の様子につき質問が出され、隊員から懇切丁寧に説明をしていただきました。最後に福地先生と地球温暖化などに関する質疑応答が行われ、講演会は5時15分に閉会しました。なお、福地先生には南極の氷も準備いただき、南極の歴史を体験することができました。



[南極基地とのTV会議]



[長瀬先生と福地先生を囲んで]



[講演会に参加した学生と福地先生]

### [色彩魚拓展示会]

色彩魚拓の展示会は、午後1時から6時まで講演会とは別室で開催されました。一つの部屋では「南極魚拓展示会」として、南極に生息する魚の色彩魚拓18点が展



[蓮田在住 長瀬先生]

示されました。

もう一つの部屋では「色彩魚拓」として長瀬望秋先生が長年取り組んでこられた南極以外の海魚や川魚等の色彩魚拓18点が展示されました。

また、「色彩魚拓」会場では色彩魚拓の制作プロセスがわかるビデオを上映しました。参観者はその鮮やかな色彩と高度な技法により制作された色彩魚拓に魅了されておりました。



[南極魚拓展示会]



## 地域文化スタディ第3回 白岡歴史入門

第3回地域文化遺産スタディ白岡町歴史入門②を6月6日「はすびしらおか」で開催した。

講師の板垣時夫氏（日本民俗学会会員、当協会理事）より白岡町の地名の由来などについて説明がありました。スタディでは白岡町の地名は豊かな自然環境や、人びとの暮らしの中から生まれたものである事を学び、現在の土地には、地名の面影をとどめていなくとも、名前の由来を知る事で、過去と現在がつながり、そして未来へのロマンを育む。そんな時代の流れを感じ取った。そして“きずな”づくりの一步として歴史認識を共有する貴重な時間をしました。



[講師：板垣理事]

地域文化スタディは第1回白岡町歴史入門①を石川正美氏の講師で08年10月5日開催、第2回蓮田歴史入門を中里忠博氏の講師で09年2月に開催し、次回は2010年2月に蓮田歴史入門②を予定しています。

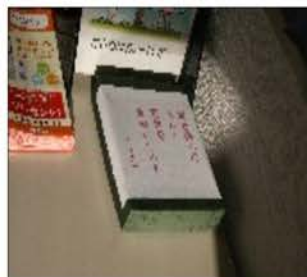
## 2010年書きそんじハガキ・キャンペーン

書きそんじハガキは世界寺子屋運動への協力として日本ユネスコ協会連盟が主幹となって展開しております。

毎年年末に恒例として連盟主催で全国展開の「書きそんじハガキ・キャンペーン」を実施しておりますが、本年度から当協会も参加する事となりました。

皆さまと一緒に推進していきたいと思えます。お手数ですが、可能な限り書きそんじハガキ集めていただき事務局にお送り下さい。書きそんじハガキ1枚（45円）でカンボジアでは鉛筆9本が買えるそうです

会員の若林さんのご努力で蓮田駅前郵便局・西城沼公園近くのカフェ・ピポディに書きそんじハガキの回収お願いのポスター（当協会宮崎さん作成）掲示と若林さん手作りの回収箱を設置することができました。他に回収箱の設置出来る場所がありましたら事務局にご連絡下さい。



[蓮田駅前郵便局の書損じハガキ回収箱]

## 会員の紹介

当協会副会長

熊倉 晃（くまくら あきら）  
与野市（現さいたま市）生まれ  
趣味は読書、スポーツ、麻雀。  
ひとこと：「南極から見る地球」  
を契機に若者の参加に明るい兆候  
があり、喜んでいます（シニア層の参加も大歓迎）。



金盛 日出子（かなもり ひでこ）  
京都府 京丹後市（丹後ちりめんの本場）で生まれる。昭和34年から兵庫県加古川市で過し、子ども達の教育に携わる。平成7年1月17日に阪神淡路大震災に遭遇する。震災後子ども達と向き合い「こころのケア」に専心する。平成15年4月に蓮田市に転入。現在も子ども達と一緒に学び教え教えられている。戦いも平和も 全て人の心の中から生まれる。未来を受け継ぐ子ども達に感謝と人を思いやる心を育てる事が私の願いです。



若林 博子（わかばやしひろこ）  
秋田県大館生まれ 18歳まで生活。  
大館は渋谷のハチ公の故郷、  
きりたんぼ鍋、比内鳥の産地。  
曲げわっぱ、あめっこ市で有名。  
私は杉のたんぼ串を持参で嫁ぎ  
ました。たんぼの好きな方は”  
声っこをかけてタンセ！ ヒェバナ！！



江口 保（えぐち たもつ）  
新潟県長岡市生まれ 8月の長岡  
まつりに有名な3尺玉火花が打  
ち上げられる。  
昭和36年上京、昭和45年蓮  
田に社宅があった事もあり蓮田  
市民となり40年になります。体力とセンスと相談しながら写真撮影を趣味としています。”自然風景”を中心に撮っていますが、年々ポイントが狭まって来ているように感じます。会社人間、埼玉都民的を反省し、地元根を下ろしたく町内会を始め機会があれば首を突っ込んで”知る”の輪を広めようとしています。





## あいがとうのコーナー

□09年度上期（09年10月1日まで）に入会いただいた方（敬称は省略させていただきます）

＜個人会員＞

蓮田市にお住まいの方  
長瀬恒雄、西尾まゆみ  
白岡町にお住まいの方  
金田洵子、金子英一  
蓮田市、白岡町以外にお住まいの方  
中村シノブ、平澤庄吾、森木キミ子

＜賛助会員＞ 松本行夫、中島のぶ子

＜法人会員＞ 郵便事業(株) 蓮田支店

09年10月1日現在の会員数

＜個人会員＞	58名	
＜賛助会員＞	7名	
＜法人会員＞	7法人	合計72名（法人含む）

□09年度上期にご寄付いただいた方

(株)ラマ ツアーズ 様 (金一封) (株)エルビー<東京>様 (お茶パック) セブンイレブン船橋米ヶ崎店様 (お花)

## 2009年度（平成21年度）上期（4月～9月）のあゆみ

月	日	曜日	活動内容	会場
4	19	日	理事会	白岡町中央公民館
	21	火	埼玉県ユネスコ連絡協議会理事会	さいたま市
	26	日	2009年度総会、ユネスコ懇話会	はびすしらおか
5	30	土	第60回日本ユネスコ協会連盟通常総会	朝日生命大手町ビル
6	6	土	設立1周年記念特別講演会 テーマ「南極から見る地球」	はびすしらおか
	6	土	設立1周年記念「南極魚拓展」「色彩魚拓展」	はびすしらおか
	21	日	理事会	白岡町中央公民館
7	26	日	臨時理事会	白岡町コミュニティセンター
8	8	土	第3回地域文化遺産スタディ 白岡歴史入門②	はびすしらおか
	8	土	臨時理事会	はびすしらおか
	23	日	理事会	白岡町中央公民館
9	13	日	事業検討会及び会報検討会	白岡町中央公民館
	25	金	臨時理事会	白岡町中央公民館

## 2009年度10月以降の主な事業予定

月	日	曜日	活動内容
11	14	土	第2回国際シンポジウム
2	6	土	第4回地域文化遺産スタディ 蓮田歴史入門②
4	24	土	2010年度総会

### 編集後記

会報第2号をお届けします。11月に行いました会報検討委員会において会報の呼称を「きずな」とする事と致しました。

今月号より「会員紹介コーナー」を新設しました。当コーナーは毎月3名～4名の方を紹介させていただきます。会員相互の“きずな”づくりに役立てれば幸いです。

蓮田・白岡地方ユネスコ協会会報

発行人：蓮田・白岡地方ユネスコ協会 会長 田村勝彦 〒349-0141 蓮田市西新宿3-55-15

編集：蓮田・白岡地方ユネスコ協会 会報編集事務局 事務局長 後藤志郎

編集体制として、会報編集事務局を立ち上げました。会員皆様のご協力のもと、ご満足いただける、親しみのある紙面作りができ、会報を通じ会員相互のきずなが深まる一助となります事を願っております。

次号は2010年5月発行を予定しています。

皆様からの寄稿をお待ちしております。 (後藤)